

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2017 (平成 29) 年 第 42 週 (10 月 16 日～10 月 22 日)

今週のコメント

～RSウイルス感染症～ 乳幼児に特に注意 咳エチケット 手洗いの励行を

定点把握感染症

「RSウイルス感染症、減少続く」

第 42 週は前週比 7.5%減の 1,691 例の報告があった。報告の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RS ウイルス感染症、手足口病、突発性発しんの順で、上位 5 疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 3.0、1.6、1.3、0.7、0.5 であった。

感染性胃腸炎は前週比 6%増の 609 例で、北河内・南河内 4.7、中河内 4.6 の順である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週並みの 314 例で、豊能 2.8、南河内 2.4、中河内 2.1 であった。

RS ウイルス感染症は 25%減の 266 例で、南河内・大阪市北部 2.1、泉州 1.8 である。

手足口病は 40%減の 137 例で、中河内 1.1、南河内・北河内 0.9 の順であった。

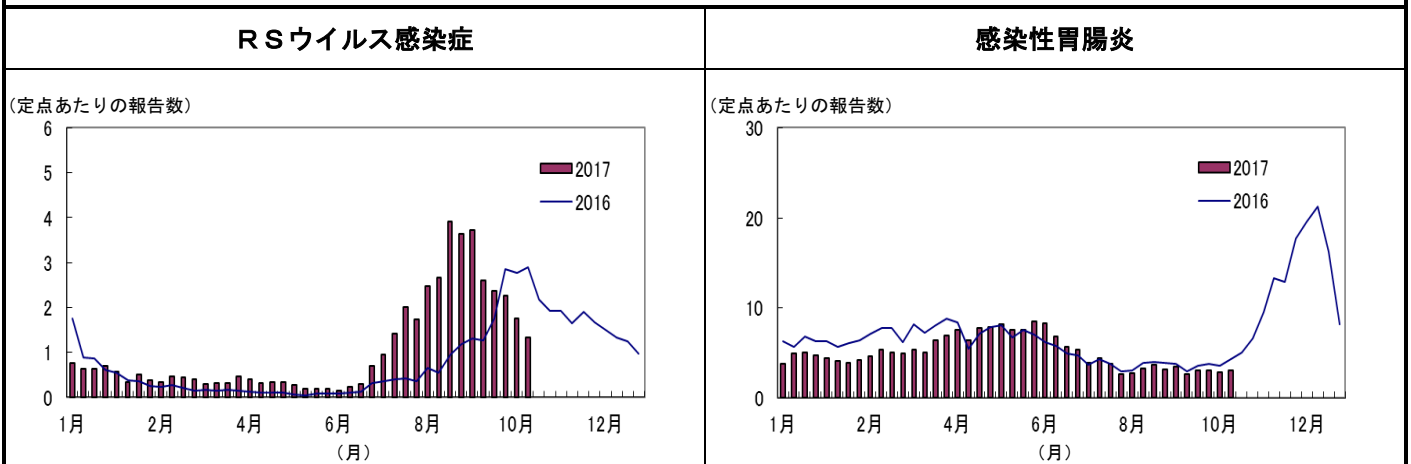


表1. 大阪府小児科定点把握感染症の動向 (2017 (平成 29)年 第 42 週 10 月 16 日-10 月 22 日)

第 42 週 の順位	第 41 週 の順位	感染症	2017 年 第 42 週 の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2016 年 第 42 週 の 定点あたり 報告数	2017 年 第 42 週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.0	6%増	4.3	1 歳_16%
2	3	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.6	1%減	1.6	5 歳_15%
3	2	RS ウイルス感染症	1.3	25%減	2.9	1 歳未満_48%
4	4	手足口病	0.7	40%減	0.7	1 歳_34%
5	5	突発性発しん	0.5	4%減	0.5	1 歳_62%
参考		インフルエンザ (インフルエ ンザ定点報告疾患)	0.1	4%減	0.1	10 歳-14 歳_23%

第 42 週のコメント

～ デング熱 ～ 海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

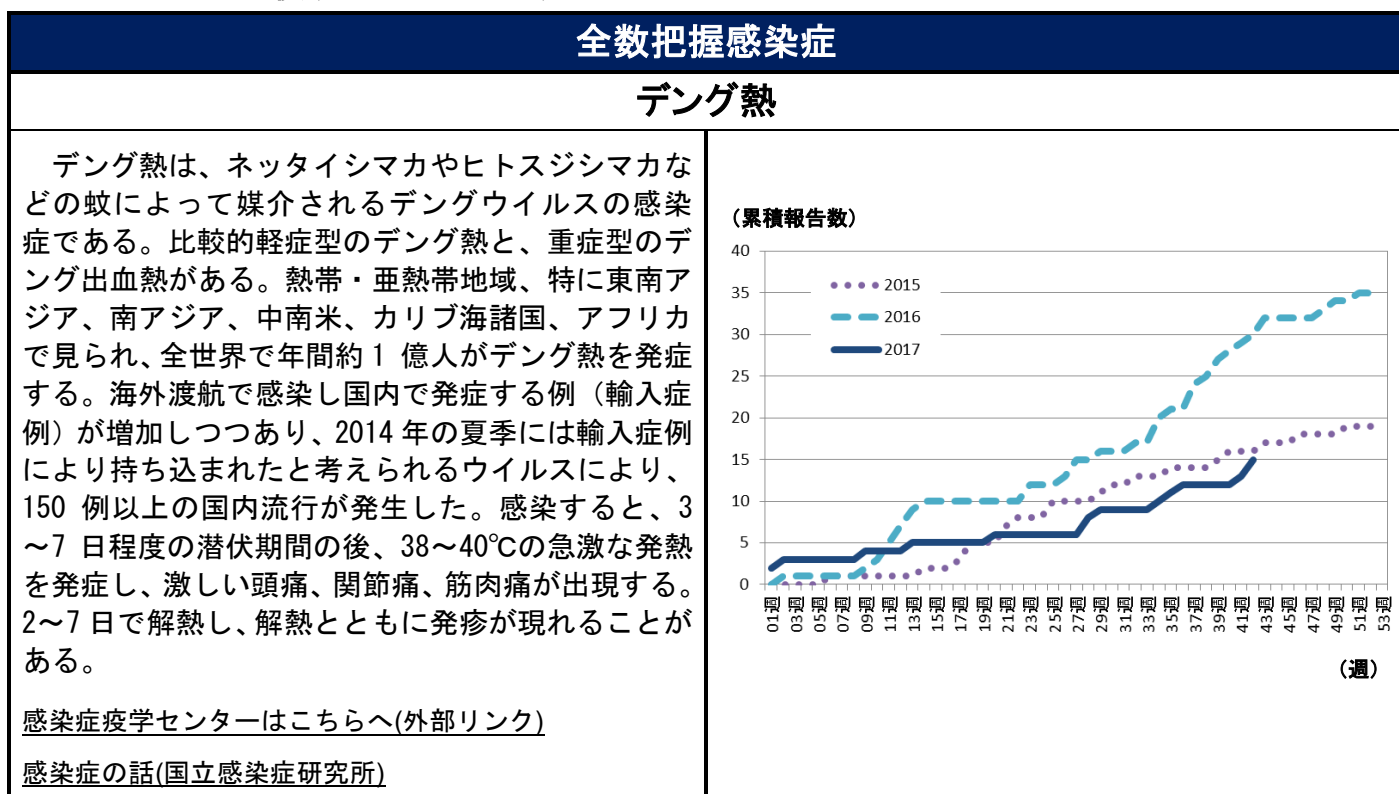


表 2. 大阪府全数報告数 (2017(平成 29)年 第 42 週 10 月 16 日－10 月 22 日)

*) 注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 148 名) 腸チフス 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 2 名)
4 類感染症	デング熱 2 名 (泉州ブロック 1 名、大阪市 1 名、府内累積報告数 15 名) レジオネラ症 2 名 (泉州ブロック 1 名、大阪市 1 名、府内累積報告数 64 名)
5 類感染症 (麻しん、風しんは除く)	アメーバ赤痢 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 99 名) ウイルス性肝炎 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 19 名) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 名 (豊能ブロック 1 名、中河内ブロック 1 名、府内累積報告数 112 名) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 名 (大阪市 2 名、府内累積報告数 17 名) 後天性免疫不全症候群 3 名 (三島ブロック 1 名、大阪市 2 名、府内累積報告数 143 名) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 名 (豊能ブロック 1 名、泉州ブロック 1 名、府内累積報告数 26 名) 侵襲性肺炎球菌感染症 2 名 (堺市 1 名、大阪市 1 名、府内累積報告数 195 名) 梅毒 5 名 (豊能ブロック 2 名、大阪市 3 名、府内累積報告数 622 名)
結核 (2017 年 8 月分)	結核 新登録患者数：153 名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 56 名) (府内累積報告数 1279 名、内 肺・喀痰塗抹陽性 526 名)
麻しん、風しん	報告はありません

(2017 年 10 月 24 日 集計分)